

自治協議会ワークショップ（新地区会館について）

2019年10月19日（土）19：00~21：00

参加者4名、役員5名、豊中市：松木、(株)長谷工コーポレーション：藤村・中西

参加者意見（・）

豊中市（＊）

＊このワークショップで出た意見が全て実現できるものではないことを確認。

<外観の色について>

- ・東街区と西街区のマンションに挟まれると附属棟のように見えてしまうため、マンションとは違う色がいい。
- ・同じ色だと、マンションの附属棟のように見えてしまう。
- ・白は汚れが目立つかも。
- ・一色ではなく、腰高さまでは雨の跳ね返りも考慮して濃い色にしてはどうか。
- ・ツートンなど、塗り分ければおしゃれな外観になるかも。下はこげ茶、上は白など。
- ・奇抜な色は避けたい。
- ・屋根は2色にできるか。
→＊仕上げによる。片流れのスレート葺きやアスファルトシングル葺きであれば、できる可能性はある。ただし、維持管理の面から考えると、1色が望ましい。また、屋根の色は近隣マンションへの太陽光反射を考慮する必要があるため、濃い色が絶対条件。
- ・太陽光を高反射して室温の低下に寄与する「サーモアイ」という屋根商品があるようだ。導入できないか検討して欲しい。
→＊近隣マンションへの太陽光反射を考慮する必要があるため、屋根は濃い色が絶対条件。「サーモアイ」という屋根塗料にも濃い色があるようだが、濃い色は太陽光の反射率が低く、遮熱効果を重視する場合は日射反射率が高い色（つまり明るい色）を選択するようにとメーカーのホームページにも注意書きがある。太陽光については、屋根裏に適切に断熱材を施工することにより対応するため、「サーモアイ」は導入しない。（市から後日回答）
- ・色の塗り分け案を、自治協で公募できたら良いのでは。
→＊地元意見を公募する場として当ワークショップがある。これ以上範囲を広げての公募は他地区会館との相違も出過ぎるため不可（市から後日回答）

<外装材について>

- ・長期の耐久性から、ALC（100mm）がいい。
- ・ALCのデザインパネルがいい。
- ・デザインパネルも色々な種類がある。
- ・サイディングの多種多様さも良いが、万が一破損した際の張替え時に、メーカーが製造終了していたら近似品を探すしかなく、つぎはぎの外観になってしまう。

<オープンスペースについて>

- ・（別添のとおり）

⇒ワークショップは、次回、2020年1月26日（土）で最後の予定。